

☆☆ リレーコラム ☆☆

絵本は教育目的や、寝る前に子どもに読み聞かすものだけでは収まりません。

大人になって出会った絵本にも心に響くメッセージがあります。そして、誰かとその感動や感想を共有したくなるものです。そんな2冊を紹介します。

子どもも大人も楽しいことをして過ごせるといつも思いませんか？

最近、『オレたちわるガキトリオ』(作・絵国栖晶子/ヴィッセン出版)という絵本に出会いました。大人の私たちも、幼い頃は冒険心をいっぱい持っていて、好きなこと、わくわく楽しく思うことにどんどん突き進んでいったことを思い出して、今もそうでありたいと思いを馳せることができました。

しかもこの絵本に登場するハムスターは銅版画ならではの線を生かして彩色されたもので、とっても温かい気持ちになります。

2冊目は既成概念にとらわれず、子どものころのように自由な発想でいたいと思わてくれる本です。

『3ひきのかわいいオオカミ』(作ユージーン・トリビザス 絵ヘレン・オクセンバリー/富山書房)という本です。

有名な『3匹のこぶた』のお話では、3匹のこぶたがせっかく作った小屋を悪者のオオカミが壊してしまいますが、このお話は、かわいい3匹のオオカミが小屋を作ったときに悪いブタが現れて、さあ、どうなったでしょうか？というラストにつながります。

この絵本に出会って久しぶりに、にっこり笑顔になり、幸せな気分を味わうことができました。

I・M



ヨムヨムだより No.9

令和8年1月22日発行

☆☆ 12月の読み聞かせ ☆☆

☆12月 4日 低学年向け (読み手 M)

『きゅうりさん あぶないよ』 作:スズキ コージ

「きゅうりさん、そっちに行ったら危ないよ。ねずみが出るから」と次々色々な動物から言われます。きゅうりさんの変化が楽しかったね。

『メリークリスマスおおかみさん』 作・絵:みやにし たつや

クリスマスイブ。腹ペこおおかみは子ぶた達をアッと言う間に捕まえたのですが…転倒して大怪我。子ぶた達の手当を受けながらもおおかみは「お前たちを食ってやる！」と叫びますが、口に包帯がぐるぐる巻きで…「うううううう、うつううう！」としか聞こえません。で、子ども達は大笑い。楽しい時を過ごしました。

☆12月 11日 高学年向け (読み手 N)

『へいわってすてきだね』 詩:安里 有生 画:長谷川 義史

2013年6月23日の沖縄全戦没者追悼式で、与那国町の小学1年生、安里くんが読み上げた詩が絵本になりました。読み始めるときーんとしました。

『やきざかなののろい』 作:塚本 やすし

大嫌いな焼き魚に付きまとわれて逃げているうちに、あれれ？勢いよく進むお話を楽しみました。

『きつねのおふろ』 作:国松 エリカ

おっとり屋のきつね、ごちそうを捕まえようとお風呂屋さんを開きますが…。のんびり聞いてもらいました。

お知らせ

毎月2回、中間休みに多目的室でヨムヨムを楽しんでくださってありがとうございます。

今年から各学期に一回ずつ、一年間で3回、みんなの教室で読み聞かせができる事になりました。

第一回目は2月なので、楽しみに待っていてくださいね！

☆☆ 今月のおすすめ絵本 ☆☆

『かさじぞう』

文:松谷 みよ子 絵:黒井 健

「子育ての難しかった時代の辛い思いを抱えて生きているじいとばあのお話し、地蔵は死んだ我が子の姿だったのでしょう」との松谷みよ子さんのコメントが切ないです。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

『ちいさなハチドリのちいさないってき』
企画:はしづめ ちよこ
絵:ウノサワ ケイスケ

ある日、森が火事になったとき、川のそばに逃げてきた動物たちは、一匹のハチドリがひとしづくの水を口にくわえて、火事を消そうと何度も水場と火事場を行き来する姿を目にします。最初は無駄な事と笑っていた動物たちもやがて…。ウノサワケイスケさんの原色を多く使った絵がとても美しく、引き込まれる絵本です。

► 次回の予定 ◀

2月 5日(木) は組・1年生・2年生・3年生

2月 19日(木) 4年生・5年生・6年生

各教室 10:30~10:45 です

お詫びと訂正:12月号ヨムヨムだよりのコラム欄の「県民の千人に一人」という文章は「県民の4人に一人」の間違いました。間違いをお詫びして訂正いたします。